

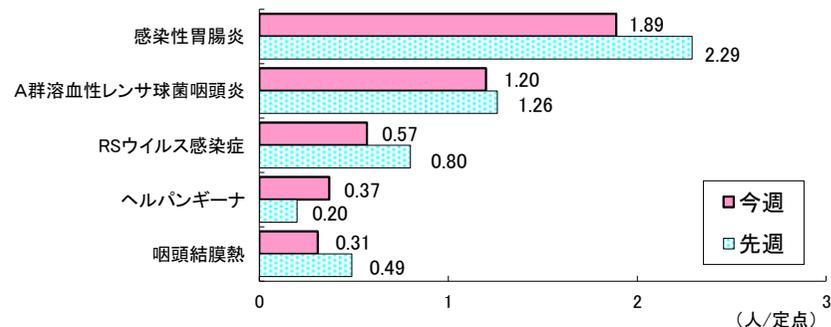


【第46週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で17%減少しています。保健所別では、由利本荘、大仙、横手、湯沢で増加、北秋田、秋田中央で同規模、秋田市、大館、能代で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で5%減少しています。保健所別では、秋田市、大仙、湯沢で増加、横手で同規模、秋田中央、由利本荘で減少しています。
3. RSウイルス感染症は、県全体で29%減少しています。保健所別では、大館で増加、湯沢で同規模、秋田市、北秋田、能代、秋田中央、横手で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減			
RSウイルス感染症	0.80	0.57	↘	1.14	0.71	↘	1.50	2.25	↗	1.50		↘	0.33		↘	0.75		↘							1.33	1.00	↘	0.75	0.75	
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.49	0.31	↘	1.57	1.29	↘	0.50	0.50											1.00		↘									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.26	1.20	↘	1.71	2.86	↗										5.25	2.50	↘	0.75		↘	0.50	1.25	↗	0.67	0.67		1.00	1.25	↗
感染性胃腸炎	2.29	1.89	↘	3.57	2.29	↘	1.00	0.75	↘	0.50	0.50		8.33	4.67	↘	1.75	1.75		0.50	1.00	↗	1.75	2.50	↗	1.67	2.00	↗	1.00	1.25	↗
水痘	0.49	0.14	↘	0.29	0.29		3.00	0.25	↘					0.33	↗	0.25		↘	0.50		↘								0.25	↗
手足口病	0.31	0.29	↘	0.14	0.14		1.00	1.00		1.00	1.50	↗							0.50	0.50								0.50		↘
伝染性紅斑	0.14	0.09	↘		0.14	↗	1.25	0.50	↘																					
突発性発しん	0.23	0.23			0.29	↗	0.75		↘	1.00	1.50	↗							0.25		↘	0.50		↘		0.33	↗		0.50	↗
ヘルパンギーナ	0.20	0.37	↗	0.43	0.71	↗		0.50	↗	0.50		↘															0.75	1.50	↗	
流行性耳下腺炎	0.03		↘	0.14		↘																								
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.14		↘							*	*		*	*		*	*							1.00		↘	*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	1.38	2.75	↗	1.00	2.00	↗				7.00	11.00	↗				*	*			3.00	↗	2.00	2.00		1.00	1.00			3.00	↗
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)		0.38	↗													*	*									3.00	↗			

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、大館保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が大館保健所管内から1人、百日咳が秋田中央保健所管内から1人、横手保健所管内から4人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-45週 全国	秋田	46週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	18778	116	4
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	4		
	細菌性赤痢	221	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	3651	56	
	腸チフス	34		
	パラチフス	20		
四類	E型肝炎	391	3	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	859		
	エキノкокクス症	11		
	黄熱			
	オウム病	6		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	5		
	キャサヌル森林病			
	Q熱	3		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	74		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎	1		
	炭疽			

類型	疾患名	(人)		
		1週-45週 全国	秋田	46週 秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	150	4	
	デング熱	175		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	285		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	3		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	2		
	マラリア	47		
	野兔病			
	ライム病	13	1	
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽	2			
レジオネラ症	1916	6	1	
レプトスピラ症	30			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	722	1	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	212	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1882	8	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	108		
	急性脳炎	562	6	
	クリプトスポリジウム症	24		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	182	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	593	5	
	後天性免疫不全症候群	1108		
	ジアルジア症	63	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	412	5	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	30		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2731	16	
	水痘(入院例に限る)	374	6	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	5955	14	
	播種性クリプトкокクス症	154	1	
破傷風	110			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	69			
百日咳	9127	61	5	
風しん	2032	3		
麻しん	251			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	20			

トピック

<12月1日は世界エイズデーです>



世界エイズデー(World AIDS Day: 12月1日)は、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO(世界保健機関)が1988年に制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。日本でも予防や治療に関する正しい理解が進むよう、普及啓発及び情報提供を推進しています。

(参照) 厚生労働省 12月1日は「世界エイズデー」

■レッドリボンの由来

“レッドリボン(赤いリボン)”は、もともとヨーロッパに古くから伝承される風習のひとつで、病気や事故で人生を全うできなかった人々への追悼の気持ちを表すものでした。

この“レッドリボン”がエイズのために使われ始めたのは、アメリカでエイズが社会的な問題となってきた1980年代の終わりごろでした。このころ、演劇や音楽などで活動するニューヨークのアーティスト達にもエイズがひろがり、エイズによる死亡者が増えていきました。そうした仲間達に対する追悼の気持ちとエイズに苦しむ人々への理解と支援の意思を示すため、“レッドリボン”をシンボルにした運動が始まりました。

この運動は、その考えに共感した人々によって国境を越えた世界的な運動として発展し、UNAIDS(国連共同エイズ計画)のシンボルマークにも採用されています。レッドリボンは、エイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージです。

■秋田県におけるエイズ相談・検査について

- ・保健所でのエイズ相談・検査は匿名で受けられ、検査結果等のプライバシーは守られます。
- ・検査は事前に予約が必要です。あらかじめ各保健所へ電話でお問い合わせください(表)。
- ・保健所での相談以外に専門家による無料のカウンセリング制度があります。

表 エイズ相談・検査の問い合わせ先

問い合わせ先	電話番号
大館保健所	0186-52-3952
北秋田保健所	0186-62-1166
能代保健所	0185-52-4333
秋田中央保健所	018-855-5170
秋田市保健所	018-883-1180
由利本荘保健所	0184-22-4122
大仙保健所	0187-63-3403
横手保健所	0182-32-4006
湯沢保健所	0183-73-6155



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		